

【JPA 広報 2011 年夏号：東日本大震災における協会の支援活動振り返り】

本日は、防災の日です。各地で防災訓練や関連行事が開催されています。東日本大震災や今後発生が言われている首都直下型地震等により、これまで以上に「防災」への関心が高まっています。この機会に、会員各社のご協力を得た東日本大震災における協会の支援活動を振り返りました。またその契機となった会員企業の社員が災害ボランティアへ参加した際の社内報告の一部を紹介します。なお、協会といたしましては、会員各社における防災意識の向上と危機管理の推進を企業活動継続の観点から推奨致します。

会員企業の社員が災害ボランティアへ行ったことを社内報告したメール

差出人:
 送信日時: 2011年8月31日水曜日 20:35
 宛先:
 件名: 震災ボランティアに行きました



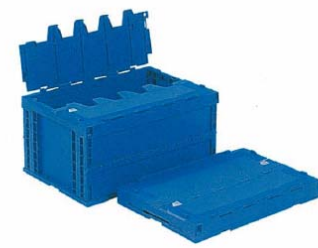
お疲れ様です。

8月27日、28日の土日に単独で福島県南相馬市へ震災ボランティアをして参りました。現地の作業所を訪れるとJPAが提供したあの赤いJコンが！

私もで洗浄作業に携わったので思わず胸が熱くなりました。現場で作業指揮を取られているリーダーの方に使い勝手を伺ったところ、「便利で大変助かってます！」とのことでした。

少し震えてしまいました。

・JPAが被災地のために出来たことは本当に役立っているんだと実感出来ました。ご報告まで。



東日本大震災におけるJPAの緊急援助物資対応について（振り返り）

1. 依頼先・窓口等

- ・内閣府・被災者生活支援特別対策本部（※現在は「被災者生活支援チーム」に呼称変更）
- ・経済産業省製造産業局紙業生活文化用品課（※現在は「紙業服飾品課」に呼称変更）

2. 対象物資

プラスチック製・折りたたみ式コンテナ（通称：オリコン）

- ①50リットルタイプ：3,700個（保管時使用の台車：130台）
- ②60リットルタイプ：1,600個（保管時使用の台車：60台）
- ③75リットルタイプ：4,700個（保管時使用の台車：160台）

3. 提供会員企業

三甲株式会社：上記の②と③／日本パレットレンタル株式会社：上記の①

4. 納品先・用途

福島県災害対策本部

特に、県内で屋内退避地域や放射線量の値が相対的に高い地域等への生活物資の宅配に使用

5. 経緯

- ・2011年3月、経済産業省製造産業局紙業生活文化用品課より協会に対して、プラスチック製の容器を緊急援助物資として確保するよう依頼の連絡が入った。
- ・経済産業省との協議で物資の仕様詳細が特定できなかったため、納品先である福島県災害対策本部へ協会が直接ヒアリングを実施して、オリコンが用途に合致することを確認。
- ・しかし、会員企業へ照会するものの、各社とも震災対応等で在庫薄の状況。依頼に対応可能であることが確認できた上記の2社を納品企業に決定。
- ・再度、協会から福島県災害対策本部へヒアリングを実施して、オリコン3タイプ：10,000台の納品で合意。
- ・5月末までに全数納品を完了

6. その他

経済産業省から感謝状の贈呈を受けた

この度の東日本大震災においては、会員各社におかれましても、企業活動の一環として様々な支援活動をされています。協会としての支援活動を通して感じたことは、「会員各社の企業力を協会がほんの少し束ねるだけで、とても大きな力になる」ということでした。今回の経験を活かし、これからも会員各社の企業力を災害支援や福祉等の社会貢献へつなげられるように活動して参ります。会員各社におかれましては、引き続き協会活動へのご理解とご協力の程、お願い申し上げます。

感謝状

日本パレット協会 殿

平素より、経済産業行政に対し御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

3月11日に発生した東日本大震災、そしてそれに続く東京電力福島原子力発電所の事故は、未曾有の大災害となっております。着の身着のままで避難した人々は、寒さの残る被災地において、生活必需品の十分な確保もままならない、厳しい生活を余儀なくされておりました。

このような中、貴団体を始めとする500を超える団体・企業の御厚意により、多くの支援が被災者の元へ届けられました。一本のローソクが明かりを灯し、一枚の毛布が寒さを凌ぐ手助けとなるなど、貴団体の支援は大きな力となって、被災地の生活を支えています。貴団体の、早く、そして温かい思い遣りの気持ち、人々の生活だけでなく、悲しみと不安で冷め切った心を優しく支え、温めたことでしょうか。

貴団体の多大な御協力に対し、改めて深く感謝申し上げます。

避難を余儀なくされた被災者は、まだまだ多くいらっしゃいます。復興に向けて、さらに困難な状況が生じることも予想されます。したがって、引き続き国民の心一つにし、真に実効性ある被災地支援を継続することが必要となっております。経済産業省も引き続き力を尽くしてまいります。貴団体の御力添えも必要不可欠です。貴団体におかれましては、引き続き、温かい御心遣いとともに御協力を賜りますようお願いいたします。

平成23年5月

経済産業大臣 海田万里

監修：広報委員会

作成：事務局

発行：2011年9月1日